

グループ活動紹介

品質工学フォーラム埼玉 における活動

株式会社アルビオン（品質工学フォーラム埼玉代表）

深澤 宏

Group
Activities

1. はじめに

品質工学フォーラム埼玉（以後 QEF 埼玉と記載）が設立して、一昨年（2014年）10月で満20年を迎えた。今回、20年前を思い出し、QEF 埼玉設立の経緯と、現在までの活動を整理したので報告する。

2. QEF 埼玉の設立

品質フォーラム本部の第2回品質工学研究発表大会が1994年6月にJA ホールで開催された。

1日目の懇親会の中で「埼玉にも品質工学の研究会が欲しい」と深澤が提案し、同席していた3名と意気投合し、埼玉研究会の準備委員会を設立した。

3. 設立までの動き

1994年7月15日に、山城精機製作所の堀社長に代表を引き受けてもらい、他11名の委員として、設立に向けて活動を開始した。

第1回会合（7月15日）は参加者6名で行い、メンバーの紹介や、会員名簿データベース作成、賛同者の勧誘などを決めた。

活動として、まず日本規格協会から、埼玉在住、埼玉事業所に勤務する品質工学フォーラム会員名簿を頂き、賛同を呼びかけた。回収率は28分の11だった。研究会に参加希望者が8名いた。

第2回会合は8月26日に行い、参加者は10名だった。今後の活動計画、県へのアプローチ、飯野氏渡米壮行会などを行った。

設立を1994年10月として、具体的な計画を策定していった。設立趣意書には、代表堀信夫、発起人飯野由久、中谷善一、園田泰子、星賢一、渡部義晴、小見山映二、土居雅幸、島村聡、金本良重、遠藤真由美、深澤宏、の12名が名を連ねた。

4. 設立総会

1994年10月26日埼玉県鋳物機械工業試験場にて、設立総会を開催した。会員出席者20名、会員外出席者16名の合計36名が参加した。

まず、設立の趣意が説明され、全員一致で設立が承認された。（委任状5名）

その後、土居氏が会員規約を説明し、承認された。

次に渡部氏から、役員の選出が行われ、代表に堀社長、幹事に渡部、土居、園田、深澤、事務局として中谷（埼玉県鋳物機械工業試験場）、会計監事に金本、遠藤両氏が選出され、満場一致で承認された。

続いて堀社長が挨拶し、星氏が事業計画、園田氏が予算案を説明、承認された。

設立記念講演会は立林氏（富士ゼロックス（株））が「品質工学への招待」と題して、1時間講演した。

その後事例紹介として、深澤が「口紅の基本機能」について20分程度紹介した。

5. 設立後の主な活動

1) 第1期（1994年10月～2004年4月）